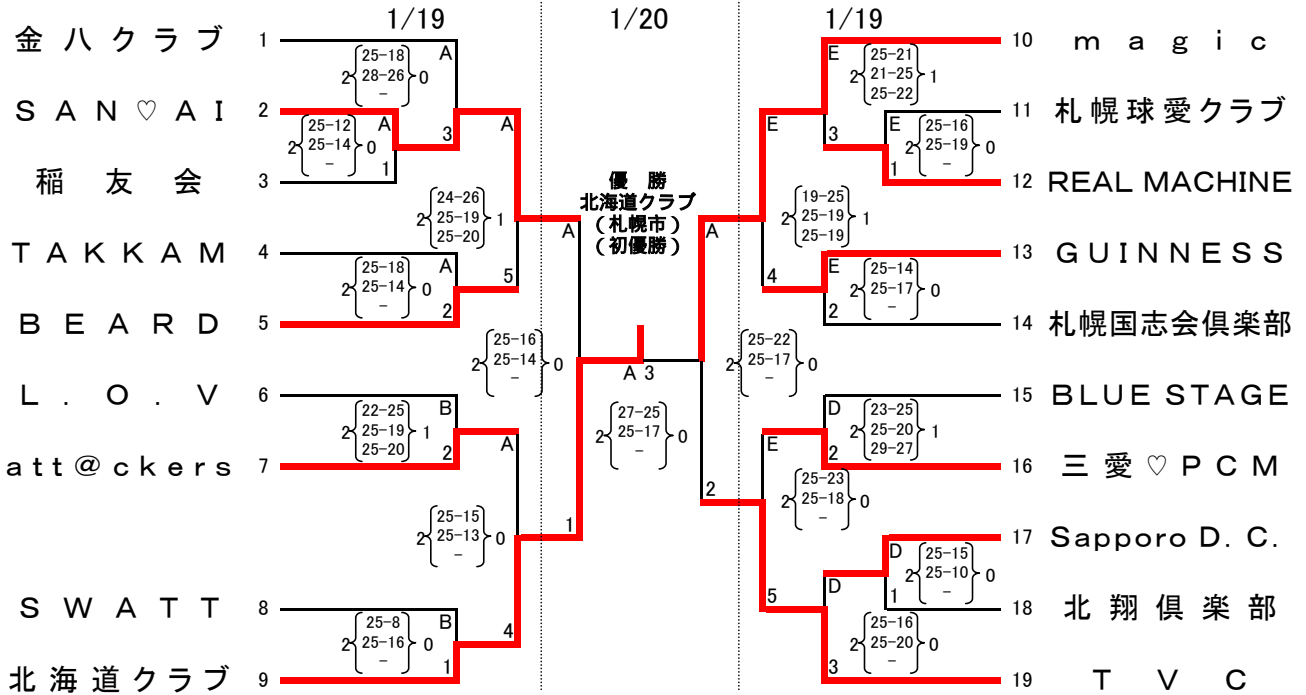


第19回 6人制選手権大会

平成20年1月19日(土) 札幌市白石区体育館、札幌市厚別区体育館
 平成20年1月20日(日) 札幌市白石区体育館

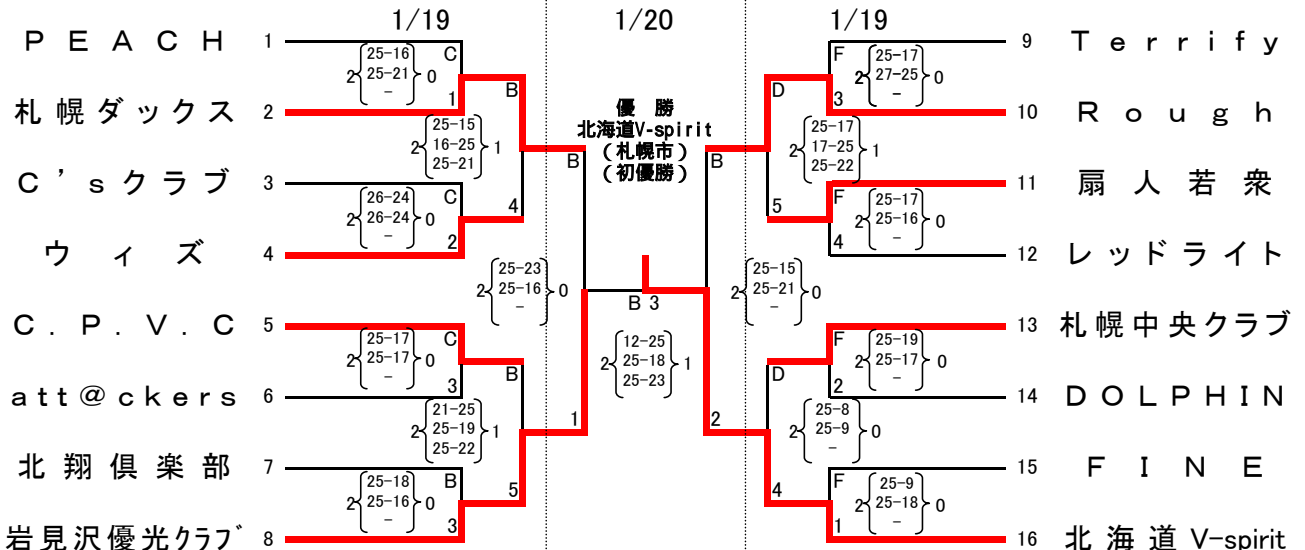
大会会長 : 吉川 貴盛
 大会委員長 : 名畑 五朗
 競技委員長 : 佐藤 充昭
 審判委員長 : 新見 登
 総務委員長 : 沓沢 幸一

【男子の部】



戦評(6人制男子決勝戦)1セット目:身長で大きく上回る北海道クラブ。それをどう押さえるか興味深いゲームであった。magic12番小林のジャンプサーブが出だしに決まるが、すかさず北海道クラブ2番須田のスパイクで切りかえす。お互いスパイク、ブロックをくり広げながら一進一退の攻防戦となった。終盤magicが北海道クラブ2番須田のスパイクを始めて止めるも、リズムをかえることができず、最後はブロックされ27-25で北海道クラブが勝利した。2セット目:1セット目同様1点を争う一進一退のゲーム展開となる。常に北海道クラブがリードしつつも、その差は2点以内。magicも追いついたと思うと、すぐにその差を縮められてしまう。やはり北海道クラブの大きなブロックに苦しんでいるようであった。中盤、北海道クラブの若いエースアタッカー16番山本が相手のリズムをいい所で崩すスパイクが決まる。点差は徐々に大きく広がる。北海道クラブは2番須田だけではなく、16番山本、21番鳥辺、17番杉田と多彩な攻撃をする。magicの気合いの攻めも、サーブミス、レシーブミスが続き、最後は北海道クラブが25-17と勝利し初優勝をかぎ

【女子の部】



戦評(6人制女子決勝戦)1セット目、序盤岩見沢優光クラブの2番高橋のサーブと相手のミスにより、7-0と大きく引き離し、終盤は1番清水のアタックが炸裂し、最後は14番石川のサーブが決まり岩見沢優光クラブが25-12でこのセットを勝利した。2セット目、岩見沢優光クラブの1番清水、4番三浦の活躍で6-2とリードしたが、北海道V-spiritの5番中嶋、13番倉知のアタック、ブロックで15-12と逆転すると、そのままの勢いで攻め北海道V-spiritが25-18でこのセットを勝利しセットカウントを対にした。3セット目、北海道V-spiritは相手のミスや9番猿田、13番倉知のアタックが決まり、13-3と大きく離しコートチェンジする。ここから岩見沢優光クラブの粘りのレシーブから序々に追い上げ、20-17と迫った。北海道V-spiritの5番中嶋のスパイクで差を広げたが、岩見沢優光クラブ4番三浦のクイック、1番清水のスパイクで24-23と迫るも、最後は北海道V-spirit13番倉知のスパイクが決まり25-23、セットカウント2-1で北海道V-spiritが初優勝を飾った。

【成績結果】

(A・B・Cコート:札幌市白石区体育館、D・E・Fコート:札幌市厚別区体育館)

男子の部	優勝	北海道クラブ (札幌市)	準優勝	magic (札幌市)	3位	SAN♡AI (岩見沢市) TVC (札幌市)
女子の部	優勝	北海道V-spirit (札幌市)	準優勝	岩見沢優光クラブ (岩見沢市)	3位	Rough (札幌市) 札幌ダックス (札幌市)